

# 1人1台端末の活用による実践事例 (小・中学校用)

学校名	笠岡市立笠岡西中学校	実践者名	成石 祐一
教科	社会科	学年	第3学年
活用内容	検索 文章作成・意見交流 発表・プレゼン	実践日	令和3年11月10日
		授業活用段階 (岡山県版)	Stage 2
単元・内容等	「地方自治」～笠岡市の条例を作ろう～ 笠岡市の課題や条例について、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現することができる。		
活用の概要（目的・活用場面・使用アプリ名を含む）			

## 【前時まで】

- ・「少子高齢化」「人口減少」「過疎化」「商店や観光地等の活性化」等、笠岡市の課題について各グループごとに課題をJamboardにまとめておく。

## 【本時のようす】

- (1) 前時までの学習を確認し、本時のめあてをつかむ。

笠岡市の課題を解決するための条例を作ろう

- ・自分たちで条例を作る際の参考となるよう近隣自治体の条例を、大型テレビで提示し、解説する。

- (2) 笠岡市の課題を解決できそうな条例を考える。

### ①個人で情報収集する。

- ・参考になりそうな情報を資料集や各自治体のウェブサイト等を活用し、情報収集を行う。

### ②グループで作成する。

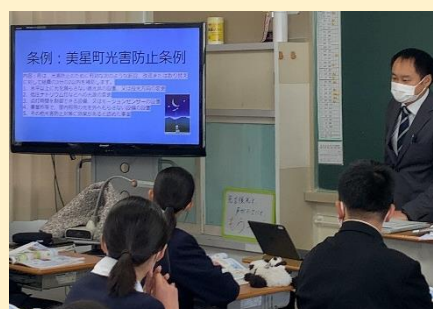
- ・スライドを共有し、役割分担をしながら自分たちで考えた条例を作成する。
- ・スライドは、条例の「内容」「目的」「目指す姿」の3枚を基本に作成するようにする。

- (3) 全体で発表する。

- ・発表を聞く際、ワークシートに各グループの良かったところを書かせる。

- (4) まとめと振り返りを行う。

【グループでJamboardやスライドを共有していたからこそ、生徒たちはグループで協力して短時間で効率的に、独自の条例を作成することができた。(指導主事より)】



実践者の手ごたえ	児童生徒・保護者等の主な反応や声
生徒同士で笠岡市に対する思いをしっかりと話しあうことができた。スライドを共働編集することで、話し合う時間も十分に確保することができたので、生徒自身も自信をもって発表することができた。	(生徒から) 友達と協力して、笠岡市の課題を改めて考えそこから条例を作るのはおもしろかった。Jamboardやスライドを共有していたので、他のグループの条例も参考にすることができた。